



山陽小野田市の概要

位置と地勢



本市は、山口県の南西部に位置し、下関市、宇部市、美祿市と接しています。本市北部の市境一帯は、標高 200 ～ 300 m 程度の中国山系の尾根が東西に走り、森林地帯となっています。中央部から南部にかけては、丘陵性の台地から平地で、海岸線一体はほとんど干拓地となっています。市内中央部には厚狭川、有帆川が流れ、平地部を通過して瀬戸内海に注いでいます。市街地は、これら丘陵地から平地部を中心に発達しました。この市街地を取り囲むように丘陵の部の里山、河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園や海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。

気候は、年間を通じて温暖で、降水量の少ない瀬戸内海式気候を示し、住みやすい生活環境となっています。また、市内には山陽自動車道（小野田 I.C.、埴生 I.C.）、山陽新幹線（JR 厚狭駅）があり、隣接する宇部市には山口宇部空港があるなど、高速交通網の利便性が高い交通の要衝となっており、産業立地も好条件を備えています。



▲ JR 厚狭駅新幹線口

基本情報

- 総面積 133.09km²
- 総人口 62,671 人（男 29,545 人、女 33,126 人）
【平成 27 年国勢調査】
- 世帯数 25,740 世帯【平成 27 年国勢調査】
- 製造品出荷額等
7,323 億 2,032 万円（山口県内第 3 位）
【平成 28 年経済センサス】
- 上水道普及率 99.4%（山口県内第 2 位）
【山口県生活衛生課「山口県の水道の現況」】
- 市町村道舗装率 98.2%（山口県内第 2 位）
【山口県道路整備課「山口県の道路現況」】

歴史・文化

J R 厚狭駅南側の丘陵地にある 4 世紀後半の地域首長の墓である長光寺山古墳は県下を代表する前方後円墳で、大和政権から贈られた仿製三角縁神獸鏡など貴重なものが多数出土したほか、5 世紀前半の女性の墓とみられる妙徳寺山古墳からは貴重な勾玉、管玉などが出土しています。また、6 世紀になると市南部の竜王山周辺は須恵器の一大産地となりました。



▲ 寝太郎像

関ヶ原の戦い後、厚狭南部の領主となった厚狭毛利氏が居館を設け、山陽道が通っている厚狭は宿場として栄えました。

明治維新後、本市は工業都市としての道を歩みます。明治 14 年（1881 年）、国内初民間セメント製造会社が設立、続いて、国内でも早期に設立された民間化学会社が誘致されました。



▲ 小野田セメント徳利窯

大正時代にも製薬会社の工場や国内初の民間火薬製造会社の工場が造られるなど、本市は日本の産業近代化の先駆けと言えます。同時に、石炭産業や硫酸瓶などの製陶業も隆盛を極めました。

現在も県下有数の工業都市である本市では、須恵器、セメント、硫酸瓶を製造した窯業の歴史を踏まえ、ガラスを用いた新たな文化を創造し、「現代ガラス展」を開催するなど全国へ発信することで、「ガラスのまち」としての魅力づくりに取り組んでいます。



市の木「クロガネモチ」



市の花「ツツジ」

山陽小野田市略年表

● 山陽小野田市誕生 写真① 〈2005年〉

国民文化祭・やまぐち 2006 プレイベント「ふれあいガラスフェスタ」開催



● 山口県立おのだサッカー交流公園オープン 写真② 〈2006年〉

山口東京理科大学と連携協定締結、市章デザイン・市の木・市の花決定



● 山陽オートレース事業の包括的民間委託開始 〈2007年〉

市民憲章制定、セメント製造関連遺産・窯業関連遺産が近代化産業遺産

● おのだサンパークリニューアルオープン 〈2008年〉

国道2号厚狭・埴生バイパス開通、ファミリーサポートセンター設置

● 都市計画マスタープラン策定 〈2009年〉

産業観光バスツアー「地旅(じたび)大賞」特別賞受賞

● 竜王山公園が日本夜景遺産に認定 写真③ 〈2010年〉

竜王山公園が日本夜景遺産に認定、かがく博覧会開催、「女性の日」創設、学校給食における地産地消の促進



● 山陽小野田市転入奨励金制度を開始 〈2011年〉

消費生活センターを設置、自治基本条例制定

● FM山陽小野田(FMサンサンきらら)が開局 〈2012年〉

厚陽小中学校新校舎が完成、「住吉まつり」が復活



● 新山陽消防署完成 〈2013年〉

コンビニ収納開始、JR美祢線に寝太郎車両が登場

● レノファ山口FCの応援都市に 写真④ 〈2014年〉

小野田・楠企業団地に企業進出、有帆川大橋開通



● 市民病院グランドオープン 写真⑤ 〈2015年〉

デマンド型交通本格運行開始、新ごみ処理施設火入式、山口東京理科大学の公立大学法人の設立認可を申請

● パラサイクリングリオ直前合宿 写真⑥ 〈2016年〉

厚狭地区複合施設開館、公立大学法人山口東京理科大学設立、ふるさと山陽小野田応援事業開始、乳幼児医療費・子ども医療費の助成拡充



● 山口東京理科大学の薬学部設置認可 写真⑦ 〈2017年〉

市スポーツ交流施設完成、「山口県央連携都市圏域」連携協約締結

● 子育て総合支援センター「スマイルキッズ」オープン 〈2018年〉

理科大薬学部開学、パラサイクリング日本代表東京パラリンピック事前キャンプ地決定、学校給食センター完成、PRロゴマーク・イメージカラー策定

● 小中学校にエアコンを設置 〈2019年〉

スマイルハロウィンさんようおのだ 2019 を開催、「スマイルエイジング」の取り組みを開始、新斎場の供用開始、ベビスマフェスタを開催





活力と笑顔あふれるまち

5つの基本目標

- ① **子育て・福祉・医療・健康**
希望をもち健やかに暮らせるまち
- ② **市民生活・地域づくり・環境・防災**
人と自然が調和する安心のまち
- ③ **都市基盤**
快適で潤いある暮らしができるまち
- ④ **産業・観光**
地域資源を活かした活力ある産業のまち
- ⑤ **教育・文化・スポーツ**
意欲と活力を育む学びのまち

重点プロジェクト

- ① **にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト**
地域の特性を活かしたまちへ
- ② **子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト**
もっと住みよいまちへ
- ③ **まちの魅力発信向上プロジェクト**
住んでみたいまちへ

市民ニーズ

地方創生



重点プロジェクト

前期基本計画（平成 30 ～ 33 年度の 4 年間）

1 にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト

- ★文化・スポーツの振興
文化・スポーツを媒体とした交流を促進することにより、まちのにぎわいを創出します。
- ★山口東京理科大学との連携
山口東京理科大学と連携し、産学官連携を推進し、新産業の創出、人材育成などにより地域産業の活性化につなげます。また、学生の定住促進に取り組みます。
- ★地域経済の活力増進
新たな企業の誘致のほか、既存企業、中小企業、起業を支援し、地域経済の活力を高めます。

スマイルシティ山陽小野田

市民のみなさんや本市を訪れた人が笑顔でいきいきと過ごしているまちのイメージを伝えるため、キャッチフレーズを「スマイルシティ山陽小野田」と定め、市内外に向けて本市の魅力を発信します。

2 子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト

- ★子育て支援の充実
妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援を目指します。産後の母子に対する支援を強化するとともに、保育環境の向上を図ります。
- ★女性の就労支援
結婚、出産等による離職から再就職を希望する女性を対象に、就労を支援します。
- ★教育環境の整備
生活改善・学力向上の取組を継続するほか、ICT環境を整え、情報機器を活用した効果的な授業づくりを行います。

3 まちの魅力発信向上プロジェクト

- ★シティセールスによる魅力発信
シティセールスにより、市の魅力を効果的に市内外に発信するとともに、地域資源や魅力の発掘・創出に取り組みます。また、観光、農業、商業などの連携により農産物などのブランド化を進めます。
- ★観光の推進
広域観光の連携など、戦略的な観光施策の展開により、交流人口の増加を目指します。